

授業科目名	ユーザ社会学
科目番号	02RB233
単位数	2.0 単位
標準履修年次	1・2 年次
時間割	秋 AB 水 1,2
担当教員	山田 亜紀
授業概要	基本講義は英語で授業を進めていく。主にクラス内容ですが、質的調査法・エスノグラフィーについて(社会学・文化人類学で使われる方法論)についてカバーしていきます。
備考	英語で授業。本プログラムの学生以外が受講する場合は担当教員の許可を得ること。教室は EMP スタジオ。
授業形態	講義
授業形態の補足	講義とセミナー形式 英語授業 最低開講人数 3 人
教育目標との関連	「分野横断力」における「幅広い専門知識と経験」を培うことに関連する
授業の到達目標	1. 質的調査の基本的概念を理解し、その手法ベースにする。 2. 長期にわたり研究対象を観察するという研究実践ができること。 3. 研究対象を質手的に分析する力を獲得すること。
授業計画	これらの項目に基づいて授業を進めていく。 1) 質的調査法の特徴・基礎 2) 研究対象を探し、現場を内側から理解し、問いを発見し、問題定義を考え定める 3) フィールドワークを行う際の注意点、スキル・デザイン構築 4) フィールド調査による、社会学の方法論、実践的な調査法 5) 集めた情報を分析し深くディテールにこだわり、文脈を理解する集めた情報をまとめ、ファイナルレポートを書く方法を学ぶ
履修条件	
成績評価方法	授業での議論への参加、およびレポート課題を評価することによって行う A+:秀 (90 点以上) A :優 (80-89 点) B: 良 (70-79 点) C: 可 (60-69 点) D: 不可 (60 未満)
授業外における学習方法	
教科書	
参考書	
オフィスアワー	メールで事前にアポイントメントをとってほしい。 yamada at emp.tsukuba.ac.jp
受講生に望むこと	量的調査とは異なる手法であるが、社会科学の重要な研究方法である質的調査の視点から、どのように研究対象を観察及び分析することができるかについて、履修生に理解してほしい。そのためには、まず質的調査の理論的枠組みを理解し、次に研究対象を定め、問題設定を行い、フィールドワークを実践し、そこから収集した情報をまとめレポートを書いてほしい。研究対象を外側から見るだけでなく、研究対象と同じ目線で見ることのできる内側から観察することによって、外側からみた時に気づかなかった視点を見出してもらおうと同時に、獲得した知見の本質とは何かも把握できるようにしてほしい。

欠席の場合の措置	
関連科目	
TF・TA	
キーワード	質的調査法・エスノグラフィー・分析・観察・インタビュー調査・フィールドワーク